

社協だより

2012
7月発行
VOL.24

まんのう



にこにこ笑顔で、
体を動かそう！

～町老連研修会～

元気ふれあい
ほっと安心

地域で共にいきる まちづくり

共同募金受配事業

平成23年度事業報告

I. ふれあいの場づくり

子育てサロンは、2会場で95回、延べ2137人の参加者。小地域ふれあいサロンは、4か所のサロンが新設され、17か所となりました。開催回数は、187回、延べ参加者数は2554人です。さらに、脳の健康教室は、延べ参加者数1233人となっており、地域のつどいの場所が充実してきています。反面、地理的状況により設置が困難な地域へのテコ入れ活動の支援や個別支援にむけての取り組みが今後の課題です。

●子育て支援事業

①子育てサロンの実施

実施場所 満濃農村環境改善センター、神野婦人の家
実施回数95回 参加者数「子ども 延べ1052名／保護者 延べ900名／ボランティア 延べ185名」
②子育て連絡会11月25日

参加団体 町教育委員会、子育て支援センター、健康増進課、福祉保健課、まんのう町社会福祉協議会
③託児に協力
ボランティア 延べ17名／託児 延べ30人

●小地域ふれあいサロン事業

①登録サロン数 17サロン／新規開設サロン 4か所／187回開催 構成員 662人／延べ2554人参加

②小地域ふれあいサロン活動情報交換会
実施日 6月27日 19名参加

●脳の健康教室事業（まんのう寺子屋）

学習者	第8期第9期	四条校	合計
サポーター	554人	322人	876人
	268人	89人	357人
合計	822人	411人	1233人

II. 思いやりの心を育てる人づくり

「町社会福祉大会」は会場となった町民文化ホールには、

町内の福祉関係者が一堂に会し、地域福祉活動へのさらなる推進を宣言しました。また、66の福祉関係団体の参画による「まんのう健康・福祉まつり」は、終日多くの来場者が訪れていました。車いすで来場する方も多くみられ、身近に福祉にふれあう町の福祉イベントとして親しまれるようになりました。

2つの行事とも関係諸機関・団体やボランティアとの協働により開催されており、顔の見える確かなつながりを感じています。

●福祉まつり（大会）開催事業

①「第6回 まんのう町社会福祉大会」
12月10日 3655名参加

②「第6回 まんのう健康・福祉まつり」
3月20日 66団体の参画

●社会福祉施設宿泊体験学習事業

①福祉施設（やすらぎ荘）体験学習
参加者 琴南中学校 生徒23名 先生3名
実施日 8月4日～5日

●自治会懇談会開催事業

①福祉についてのお話の会21回 延べ449人参加

III. ボランティア活動づくり

ボランティア養成では、サロン関係のボランティアリーダーとサロン活動のボランティアの充実に重点を置き、活動の現場ですぐに生かせるレクリエーション、介護技術、体操、折り紙などの研修をおこない好評でした。

ボランティア団体の活動状況や関係諸機関がボランティア活動に関する情報交換やネットワークづくりのために、新規事業として、ボランティア連絡会を開催しました。連絡会では、14の団体が活動内容や共同募金改革についての情報交換を行いました。

●ボランティアセンター事業

①ボランティアグループへの協力・支援

②ボランティア連絡会 3月29日 14団体参加

●ボランティア養成事業

①ボランティアリーダー研修会 11月15日
②サマースクール 7月29日
小学生16名参加

指導者 6名の子育てボランティアが指導

③ボランティア交流会

●ボランティア協力校助成事業

満濃中学校、町内小学校6校へ助成

●ボランティア保険加入促進事業

①ボランティア活動保険Aプラン86名、Bプラン271名
天災B17名

●傾聴ボランティア事業

①傾聴ボランティアの派遣利用相談4件
②傾聴ボランティアの派遣
登録ボランティア（登録34名）派遣回数 延べ11回
③養成講座の開催 実施日 2月2日 受講者 32名

IV. ささえあいのネットワーク事業

福祉委員制度の確立と意識啓発のため、新しく選任された福祉委員および自治会長、関係機関が一堂に会し「福祉委員大会」を実施しました。台風のため、当初の開催日から延期となったにも関わらず、琴南公民館いっばいの246名の参加者は、福祉委員の役割について共通理解をしました。さらに、緊急自殺予防対策特別事業（香川県地域自殺対策緊急強化基金事業）として取り組んだ講演会では、自殺予防の最善策は地域づくりであることを学び、地域づくりについての弾みがついた講演会となりました。

各地域福祉推進委員会では、地域性にあった事業が展開され、仲南地区では、各福祉委員会の活動内容を報告しあう福祉講座を新設し、互いの活動について熱心な意見交換がなさ



ボランティア連絡会

れました。満濃地区では、支部長会・事務局会議により支部の情報交換と男性の料理教室、友遊訪問について活動の共有化を図りました。琴南地区ではボランティア研修会を実施し自分達にできることについて研修しました。

●福祉委員活動推進事業

①福祉委員数 579名

②福祉委員大会（緊急自殺予防対策特別講演会と併催）

開催日 7月24日

（当初予定は5月29日、台風のため延期し開催）

参加者数 246名

●地域福祉活動推進事業

助成先 満濃・町社協支部（5支部）

琴南・連合自治会（9連合）

仲南・福祉委員会（17地区）

●地域福祉推進委員会事業

①琴南地域福祉推進委員会

7月2日 第1回琴南地域福祉推進委員会

9月16日 琴南地区福祉委員研修会、共同募金運動説明会

12月・3月末

地区民生委員によるひとり暮らし高齢者世帯訪問

156世帯

3月11日 琴南地区登録ボランティア研修 18名参加

②仲南地域福祉推進委員会

6月29日 第1回仲南地域福祉推進委員委嘱式及び

第1回仲南地域福祉推進委員会

9月22日 10月28日

福祉委員研修会、福祉講座

（2回）の開催 延べ158名参加

12月 福祉委員による高齢者（80歳以上）

友愛訪問 対象者 506名

12月22日 クリスマス訪問仲南東保育

所園児に手作りクッキーを

もって訪問交流

2月・3月末 民生委員、福祉委員によるひとり暮らし

（80歳以上）訪問世帯数 63名

3月30日 ボランティア研修会



福祉委員研修会

③満濃地域福祉推進委員会

4月26日 第1回満濃地域福祉推進委員会 出席委員 16名

7月1日 満濃地域福祉推進委員委嘱式 出席委員 18名

第2回満濃地域福祉推進委員会

9月12日 福祉委員研修会の開催 出席委員 186名参加

6月8日 8月1日 10月4日

12月5日 2月7日 満濃地区支部長・事務局会議の開催

④共通事業

第9回四国地域福祉セミナーin吉野川市 14名

男性の料理教室 14回開催 延べ参加者 312名

小学校卒業生へ卒業祝いの贈呈 142名

第6回まんのう健康福祉まつり参加協力

●見守り・声かけ・ほっと安心事業

23年度助成集落60集落 1289世帯 4138人

5月31日 町と委託契約

8月19日～9月末 助成集落申請受付期間

10月26日 事業助成集落説明会 参加者45名

3月1日～3月15日 事業助成集落実績

報告受付

3月5日 見守り声かけほっと安心事業

助成集落相談会、情報交換会

参加者 35名



助成集落情報交換会

V.問題解決の体制づくり

民生児童委員と協働し、在宅福祉実態調査を行い地域の高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者、要介護者宅などを訪問しそのニーズ把握に努めました。

さらに、町より災害時要援護者支援対策事業を受託し、災害時要援護者登録の更新、新規登録も同時に実施しています。

●総合相談事業

①法律相談

・開催日数 5日

・相談員 専任弁護士

・開催場所 まんのう町満濃農政センター

・延べ相談利用者数 18名（一回利用平均 4名）

②心配ごと相談

VI.良質で適切な福祉サービスの提供

介護保険事業所は、利用者はほぼ横ばい状態。介護保険改正に向けての対応や登録型訪問介護員等人材の確保等事業経営課題に積極的に取り組みました。生きがい活動支援通所事業は、10か所で179回開催され、利用者延べ2441人、ボランティア1180人合計3621人の参加がありました。

今後も、参加しやすい環境づくりと魅力ある活動づくりに努め、いきがいと地域の絆づくりを進めていきます。本年度より、町からの受託事業として実施した「見守り 声かけほっと安心事業」は、60集落、1289世帯4138人が参加し、多彩な活動が各集落で行われ、見守り、声かけ活動による地域づくりが行われました。

●介護保険事業

①訪問介護事業 活動件数 520件

②介護予防訪問介護事業 活動件数 529件

③居宅介護支援事業

・要介護認定調査件数 136件

・介護予防認定者の介護予防支援計画 128件受託

・居宅介護支援事業実績 1143件

④介護サービス利用相談、苦情への対応

居宅介護支援	受付件数	解決件数	対応の状況
	1	1	訪問し親族へ状況説明。

●指定居宅支援事業（障害者自立支援法）

①障害者自立支援法居宅介護事業（身体・精神・知的）

利用者数 延べ86名

移動支援事業 利用者 延べ10名

・開催日数 36日
・相談員 民生・児童委員 延べ83名
・延べ相談利用者数 19名

●在宅福祉実態調査

調査基準日 7月1日

調査対象 ・独居老人581名 ・高齢者世帯 445世帯

調査員 ・要介護者111名 ・その他

調査員 民生委員

●委託事業受託経営事業

- ①生活管理指導員派遣事業 利用者 延べ92名
- ②生きがい活動支援通所事業（いきいきふれあいサロン）

・登録者数 172名 新規8名 延べ2441人
・ボランティア登録者数 89名 新規2名

延べ1180人参加

③介護予防事業の実施

・介護予防教室 6回実施 参加延べ人数 64名

内容 ボール・椅子を使った体操、歩行浴体験
骨密度・体脂肪等測定

④給食サービス事業 中南部地区 月4回実施（毎週水曜日）

・利用者数 30名（延べ1447食）
・ボランティア：85名（延べ284名）

⑤災害時要援護者支援対策事業（まんのう町より受託事業）

・要援護者台帳入力 819件（内本年度新規69件）

●県社会福祉協議会委託事業

①日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

・専門員1名 ・利用者4名 延べ97人

②生活福祉資金貸付事業

・新規貸付件数 8件、利用相談 22件償還完了済件数 7件

●福祉サービス支援事業

①福祉車両運行事業

（1）いきいきスマイル号

・延べ利用者数13名 ・延べボランティア数9名

（2）マイクロボス

・年間稼働日数81日 ・延べ走行距離5170km

②福祉用具貸与事業

新規貸付台数 車いす41件、特殊寝台7件

VII：関係機関や団体との連携づくり

東日本大震災について、石巻災害ボランティアセンターへ10日間、職員1名を派遣しました。また、支部社協、自治

会、日赤奉仕団との連携により、炊き出し訓練、災害時の対応、救急救助法などの防災研修を6か所にて実施し、災害時の連携づくりに取り組みました。

仲多度南部医療・保健・福祉関係者連絡会は、初めてまんのう町で開催し、医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、地域包括支援センター、介護保険事業所職員、福祉施設職員、民生委員、町社協理事など専門職や地域のボランティアなど多くの関係者の参加により、地域包括ケアについて学びました。さらに、介護保険事業計画、障害者福祉計画等の行政計画に参画しています。

●関係機関や団体との連携を図る事業

①仲多度南部医療・保健・福祉関係者連絡会の開催 2月23日

仲多度南部医療・保健・福祉関係者 55名

②香川県共同募金会まんのう町支会への協力

・赤い羽根共同募金運動

5045040円

配分団体 17団体 配分額

3866806円

・災害見舞金

・火災見舞金（全焼）

40000円（2件）

・災害見舞金（床上浸水）

15000円（3件）

・災害義援金

新潟県豪雨災害義援金50000円

福島県豪雨災害義援金50000円

東日本大震災義援金6389856円

③日本赤十字社香川県支部まんのう町分区分への協力

・社資募集実績額：28803000円

・防災講習会への協力 7か所炊

き出し訓練、ケガの 応急手当、

心肺蘇生法、AED使用法など。

④東日本大震災支援

・石巻市災害ボランティアセンターへの職員1名派遣



医療・保健・福祉関係者連絡会



日赤吉野分回研修会

VIII：信頼に込められる 社会福祉協議会の基盤強化

自主財源の確保として、会費は、前年度並み、寄付金は、右肩下がりとなっています。会費、寄付金ともに地域福祉活動の大切な財源としてどのように使われているかを広く知らせ、会員や寄付者のご理解を得ることが重要との観点から、広報活動に努めています。

安定した法人運営では、公認会計士や県の指導監督を受け、法人運営についての向上に努めました。さらに、役職員について、各種研修会へ積極的に参加し専門性や資質向上に努めています。

●自主財源及び公的財源の確保

①社協会費

28465000円

・一般会費

25415000円

・特別会費（法人等）

1050000円

・賛助会費（個人）

2000000円

②寄付金

74件

③共同募金配分金事業

平成23年度受配金：2960818円

●広報活動事業

①「社協だより」

まんのう」を

②町社協のホームページへの

アクセス数 2748

③ユーザー数

1980

●安定した法人運営

①公認会計士による指導・助言

5月10日

②県法人指導監督

7月14日

③まんのう町社会福祉協議会理事会

（5回開催）

④まんのう町社会福祉協議会評議員会

（4回開催）

⑤まんのう町社会福祉協議会監事会

（内部監査実施）

⑥5/23・9/29・11/21・3/23

⑦5/23・9/29・11/21・3/23

⑧5/23・9/29・11/21・3/23

⑨5/23・9/29・11/21・3/23

⑩5/23・9/29・11/21・3/23



理事会

期間 8月21日～8月30日

平成23年度 決算報告

貸借対照表(一般会計)

平成24年3月31日現在

(単位:円)

流動資産	56,867,123	流動負債	10,560,202
現金	100,000	未払金	9,782,585
預貯金	39,052,434	預り金	777,617
未収金	17,290,109		
前払金	424,580		
固定資産	113,090,513	固定負債	51,525,600
基本財産	3,000,000	退職給与引当金	51,525,600
基本財産特定預金	3,000,000		
その他の固定資産	110,090,513	純資産	107,871,834
建物(簡易)	429,410	基本金	3,000,000
構築物	453,600	基金	57,700,000
車輜運搬具	35,004	基金	47,700,000
器具及び備品	5,049,190	災害救援基金	10,000,000
ソフトウェア	14,875	国庫補助金等特別積立金	204,743
退職共済預け金	45,905,860	その他の積立金	502,574
積立預金	58,202,574	車輜購入積立金	502,574
		次期繰越活動収支差額	46,464,517
		当期活動収支差額	2,708,949
資産の部合計	169,957,636	負債及び純資産の部合計	169,957,636

※減価償却費の累計額 16,053,683円

※退職給与引当金「退職給与引当金調整額計算書の要支給額による(社会福祉団体職員退職手当積立基金)」

事業活動収支計算書

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

(単位:円)

(収 入)		事業活動外収支の部	(収 入)	
会費収入	2,846,500		受取利息配当金収入	33,555
寄附金収入	2,610,000		経理区分間繰入金収入	8,876,081
経常経費補助金収入	60,549,295		事業活動外収入計(4)	8,909,636
助成金収入	70,670		(支 出)	
受託金収入	9,818,110		経理区分間繰入金支出	8,876,081
事業収入	2,298,220		事業活動外支出計(5)	8,876,081
共同募金配分金収入	2,960,818		事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	33,555
負担金収入	924,856		経常収支差額(7)=(3)+(6)	2,708,949
介護保険収入	44,597,559		(収 入)	
自立支援費等収入	3,526,600		施設整備等補助金収入	250,705
雑収入	128,977		特別収入(8)	250,705
引当金戻入	0		(支 出)	
国庫補助金等特別積立金取崩額	219,381		国庫補助金等特別積立金積立額	250,705
事業活動収入計(1)	130,550,986		特別支出計(9)	250,705
(支 出)			特別収支差額(10)=(8)-(9)	0
人件費支出	92,625,275		当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	2,708,949
事務費支出	4,371,448		差収繰越活動	
事業費支出	14,824,814		前期繰越活動収支差額(12)	43,755,568
共同募金配分金事業費	2,960,818		当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	46,464,517
助成金支出	4,115,992		次期繰越活動収支差額(14)=(13)	46,464,517
負担金支出	106,000			
減価償却費	2,656,375			
引当金繰入	6,214,870			
事業活動支出計(2)	127,875,592			
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	2,675,394			

(単位:円)

経理区分	収入決算額	支出決算額	前期末支払資金残高	当期末支払資金残高
	A	B	C	D=A-B+C
法人運営事業	58,126,510	58,927,040	1,253,254	452,724
地域福祉総合推進事業	6,702,965	6,449,568	2,859,132	3,112,529
総合相談事業	2,695,000	2,478,118	297,556	514,438
共同募金配分金事業	2,960,818	2,960,818	0	0
訪問介護等事業	49,969,640	42,176,293	7,204,790	14,998,137
委託事業受託経営事業	10,240,306	10,240,306	0	0
生活福祉資金貸付事業	158,360	158,360	0	0
指定居宅支援事業	3,526,600	3,526,600	0	0
寄付金・基金運営事業	2,643,022	3,507,000	20,837,362	19,973,384
マイクロバス運営事業	1,365,520	1,065,305	6,955,494	7,255,709
福祉サービス利用援助事業	852,500	852,500	0	0
合 計	139,241,241	132,341,908	39,407,588	46,306,921

福祉委員の窓

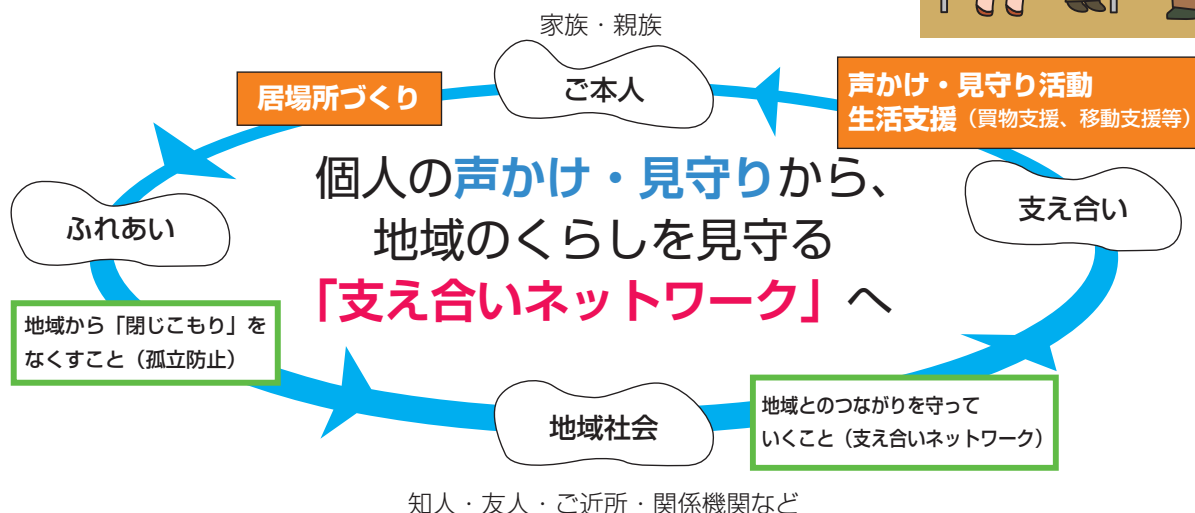
見守り声かけなど身近な地域での活躍が期待されている福祉委員さん!

今回は、あいさつやちょっとした声かけから始める地域支え合いネットワークづくりについて考えてみましょう。

一人の住民が気になったことが特定の家族・家庭だけの課題ではなく、その地域が抱える課題や問題である場合があります。地域としてその課題にどう向き合っていくかを地域で考えていく仕組みが、地域支え合いネットワークです。

地域支え合いネットワークづくりは、

- ①地域の困りごとを早期に発見する仕組みづくり
- ②住民同士がごく自然に支え合う活動
- ③家族、地域、関係機関・専門家が一緒になって支える仕組みづくり



地域における声かけ・見守り活動のポイントは、「気づく」ことです。

問題に**気がついて**、必要な支援が行われるよう支援者（民生委員、福祉委員、自治会長など）や関係機関（行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会）等に「**つなげる**」ことが大切です。住民同士の話し合いで解決できない課題や困難な問題への対応は、行政や地域包括支援センター、社会福祉協議会などとの協働が必要になってきます。気づいた人が全てを解決するのではなく、**地域でその課題を共有する**、そして、相談や連絡を受けた人や機関が公的なサービスの利用につなげたり、地域住民の方と一緒に新しい仕組みを**考えていく**ことで、**地域全体の力を高めていく**ことができます。（出典 声かけ・見守り活動マニュアルより 発行:香川県）

□在宅福祉実態調査のお願い□

今年も在宅福祉実態調査を民生委員さんをお願いしております。一人暮らし高齢者宅等を訪問しますのでよろしくお願いいたします。また、災害時要援護者登録をされている方は、登録内容の確認も併せておこないます。新規登録者も随時募集しております。

お問い合わせ先

町社協 TEL 77-2991 町役場福祉保険課 TEL 73-0102



平成24年度

こころの絆 フォトコンテスト



募集要項

1. 目的

まんのう町社会福祉協議会では地域みなさんが、人と人との『つながり』について改めて考える機会として『こころの絆』をテーマにフォトコンテストを実施します。

このコンテストを通して身近な方とのつながりについて考えていただき、より一層、絆が深まることを願っています。

2. 募集規定

① 「こころの絆」 をテーマにまんのう町内で撮った写真

② 写真はデータ(JPEG形式)でのみ受付します。

○郵送・持参の場合はCD-Rにてデータの提出をお願いします。

○電子メールの場合は3MB以内

③お一人様2作品まで(未発表の作品に限ります。)

④ 写真のデータと一緒に、1作品ごとに応募用紙の提出をお願いします。

○応募用紙は本会ホームページに掲載しています。(Word形式)

3. 募集期間

平成24年8月1日(水)～10月31日(水)

○郵送の場合…締切当日消印有効 ○持参の場合…締切当日の17時まで受付(土日祝以外)

○電子メールの場合…締切当日の17時まで受付

4. 応募資格

まんのう町内在住の方または、勤務地がまんのう町内の方

5. 応募方法

作品と一緒に応募用紙に必要事項を記入の上 ①郵送 ②電子メール ③直接本会窓口まで持参のいずれかの方法でご応募ください。

6. 応募先

まんのう町社会福祉協議会

○本所 〒769-0313 まんのう町生間415番地1 Tel77-2991 fax77-2992

E-mail: manno-syakyo@mg.pikara.ne.jp http://www.manno-syakyo.jp/

○琴南支所 〒766-0201 まんのう町造田1974番地1 Tel85-0120 fax85-0121

7. 審査

応募作品をA4サイズ(カラー)に印刷したものを使用して、まんのう町社会福祉協議会理事にて審査をおこないます。

8. 賞品

まんのう町商品券

○最優秀賞(1名)10,000円分 ○優秀賞(2名)5,000円分 ○佳作(5名)1,000円分

9. 発表

○11月下旬頃に入賞者へ直接通知します。本会ホームページでも発表します。

○まんのう町社会福祉大会において応募作品でDVDを作成し上映します。

平成24年度

こころの絆フォトコンテスト応募用紙

○写真のデータと一緒に、この応募用紙に必要事項を記入し提出してください。

ふりがな		年齢	歳
名前			
住所	〒(-)		
電話番号※日中連絡がとれる番号			
E-mail			
勤務先※町外在住の方のみ記入			
作品タイトル			
撮影場所			
撮影日	平成 年 月		
作品の説明 ※写真に添えるエピソードをお書きください。			

注意事項

応募についての注意事項は下記のとおりです。ご確認くださいましたら☑(チェック)をお願いします。

☐ ①～⑤の注意事項について確認しました。

- ①応募作品は返却しません。
- ②応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、本会は応募作品を無償で使用する権利を有します。
- ③応募者の氏名等本会のホームページ・広報誌等で使用する場合があります。
- ④応募に際して、個人が特定できる場合は必ず被写体の方の承諾を得てください。
- ⑤応募者の個人情報は本会で厳重に管理し、本会が行う事業以外には使用しません。

応募先

まんのう町社会福祉協議会

○本所 〒769-0313 まんのう町生間 415 番地 1 Tel77-2991 fax77-2992

E-mail : manno-syakyo@mg.pikara.ne.jp http://www.manno-syakyo.jp/

○琴南支所 〒766-0201 まんのう町造田 1974 番地 1 Tel85-0120 fax85-0121

社会福祉法人 まんのう町社会福祉協議会

ほっと、
ホット

ふれあい活動



吉野支部総会

満濃地域では、5つの支部（長炭支部、吉野支部、神野支部、四条支部、高篠支部）がそれぞれ地区にあった活動を展開しています。

4月～5月にかけて各支部では、支部役員をはじめ福祉委員、民生委員児童委員、自治会長が一同に会し、総会が開催されました。総会では前年度の事業報告・決算報告や本年度の事業計画・予算が承認され力を合わせて各地区の福祉活動を推進していくことを確認しました。次号からは、各支部の活動について掲載していきます。



高篠支部総会



見守り・声かけ・ほっと安心事業 助成集落決定!!

本年度は、55集落より助成の申請がありました。新しく申請した集落は6集落です。7月20日に助成集落を対象とした説明会では、昨年度取り組んだ池下集落の実践報告やこれから取り組む事業についての説明を熱心に聞いていました。



イラスト：山本恭子さん

仲南地区給食サービス

内 容

調理の困難な高齢者の方に対して、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の方の安否確認を行うことを目的に実施しています。仲南地区において月4回（毎週水曜日）栄養士の和泉さん（春日）の指導のもと、ボランティアの皆さん方の協力により、手作りの弁当を作って配達しています。※満濃地区・琴南地区については満濃荘とやすらぎ荘が町の委託を受けて事業を行っています

利用対象

仲南地区のおおむね65歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者の方です。

利用料金

・1回300円です。

給食ボランティアさん



お問い合わせ先及び申し込み先

役場福祉保険課

TEL 73-0125

まんのう町社会福祉協議会

TEL 77-2991

子育てサロン通信

みんなでおやつづくり
ニコニコ コロコロ

おやま
小山シモエさん（食生活改善推進協議会元神野会長）は、「地域の子育てのひと役になれたら」と6年前から「親子で一緒につくることができるおやつ作り」を子育てサロンで、協力してくれています。今回は、小山さんにお話を聞きました。

「今日までこの活動が続いているのは、親子がニコニコとおやつ作りをしている姿が微笑ましいからです。力加減がわからずにべちゃんこの団子しか作れなかった子どもが、だんだんころころの団子を作れるようになったり、手をきれいに洗えるようになったりと成長していく様子をそばで見られるので、私もみんなでおやつ作りの日を楽しんでいます。コミュニケーションの始発点は、親子関係。おやつ作りを通して、ずっと繋がる深い絆の親子関係の基礎にしてほしい」とお話しいただきました。

アレルギーへの配慮、子どもに危険がないようにと調理室の環境づくりと気配りをしている小山さん。おやつ作りの日は、参加者が増えるという人気の企画です。



七夕まつり



団子おいしい



豆腐団子づくり
最後の仕上げ

小山さん

斉藤さん



とんとん
ひげじいさん



父の日 手形足形を



母の日 プレゼント

《子育てサロン情報》



対象は0歳～未就学の子どもとその保護者、妊婦等です。
ほっと一息できる場所。

「子育ての仲間がいたらいいのにな」とか「子どもと一緒に遊んでくれる友達がほしい」
気軽にちょっとのぞいてみませんか？

実施日／場所 毎週水曜日10時～14時／満濃農改センター
実施日／場所 毎週金曜日10時～12時／神野婦人の家



8月の主な行事

- 1日(水) 木のおもちゃであ～そば!!
- 8日(水) あめんぼさんの読み聞かせ
- 15日(水) ブロッサムさんの読み聞かせ
- 17日(金) みんなでおやつづくり
(神野母子愛育会さん・食改さんが協力)
- 22日(水) 工作の日

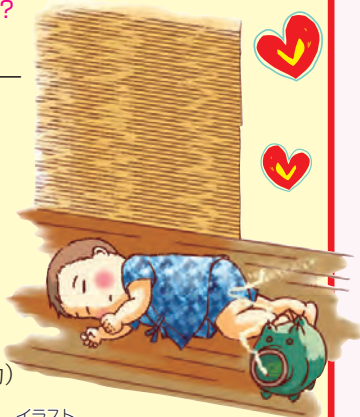


イラスト
山本恭子さん



クッキーづくり

がんばってます!!

老人クラブ

山本前会長さん
2年間お疲れ様
でした。

町老連総会・研修会

6月22日
仲南支所

任期満了にともなう役員改選の結果、新役員が決まりました。

会 長 和田 昭三(福良見)
副会長 鈴木 平司(吉野)
〃 加内 宗治(造田)
監 事 西岡 宏之(造田)
〃 赤井 利明(高篠)
(敬称略)

新役員さん
よろしくお願いします。



総会後には、坂出市レクリエーション協会会長入口邦子さんを講師に迎え「にこにこ笑顔で、楽しく動こう!」と題して研修会を行ないました。絶妙なおしゃべりとユニークな体操に、会場は大いに盛りあがりました。



満濃支部総会

5月24日
満濃農改センター

長年の功勞に対し、6名の方が功勞者表彰を受賞されました。

増田 好文 (長炭) 小野 一三 (長炭)
清田 三津子 (吉野) 高嶋 弘 (神野)
小林 重子 (四条) 金場 忠晴 (高篠)
(順不同、敬称略)



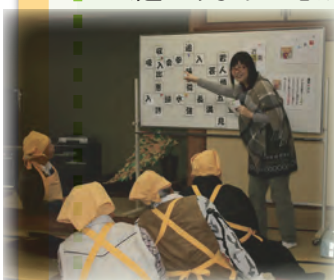
おめでとうございます。

単位クラブレポート

健康料理教室

神野延寿会 女性部長 山内 弘子さん

3月29日「骨粗しょう症予防」をテーマに健康料理教室を開催しました。
まず、保健師さんによる骨密度測定とその結果説明があり、待ち時間には栄養士さんが脳トレクイズで頭をほぐしてくれました。その後、栄養士さんの指導で、骨粗しょう症予防の調理実習と試食を行いました。
予防の大原則は「食事」「運動」「日光浴」だそうです。寝たきりにならないよう健康に気をつけ、毎日楽しく過ごすように心がけることが大事だと思います。



～笑顔のある生き生きとした毎日を～

ローズマリー 施設訪問

四国を拠点に活動するローズマリー(香川県代表 栗原量子さん)が4月24日、まんのう町長尾にある特別養護老人ホーム満濃荘を訪れ、弦楽合奏(ヴァイオリン・ビオラ・チェロなど)演奏しました。メンバーはとてもよい施設の環境の中で、オリジナル曲や童謡など数曲を披露できて良かったとおっしゃっていました。演奏を鑑賞していたお年寄りの中には、涙を流しながら童謡を口ずさみ感動されている場面もありました。今後ローズマリーの皆様は、施設利用者等に「音楽を通して心身のストレスを解消し、笑顔のある生き生きとした毎を送るお手伝いをしたい」と地域貢献をしていきたいとのことでした。5月にも、松山市の施設に訪問し、ミニ演奏会を開催し、益々活躍が期待されています。



福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業)

福祉サービスの利用手続きや生活費の管理が一人では難しい・・・日常生活の心配ごと、困りごとの相談を受けながら、福祉サービスを利用する手続きのお手伝いや、日常生活費の管理のお手伝いをします。

「サービス内容」

①福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手伝い
- ・利用している福祉サービスの苦情を解決するためのお手伝い
- ・福祉サービス利用料の支払いなど

②日常的金銭管理サービス

- ・公共料金などの支払いや年金などの受領の確認
- ・日常生活に必要な生活費の払戻など預貯金のお出し入れ
- ・日常生活の金銭管理についてのお手伝い

③書類等の預かりサービス

- ・預貯金通帳や年金証書など、無くしては困る大切な書類の預かり
- ※「書類等の預かりサービス」のみの利用はできません。

「利用できる方」

- ・高齢や障がいにより、日常生活上の判断に不安を感じている方が対象です。

「利用するには」

◎まんのう町社会福祉協議会にご相談ください。

(ご相談は無料です。相談内容等プライバシーは厳守いたします。)

- ・専門員が訪問して、ご本人と提供するサービス内容を話し合い、支援計画を立て、契約を結びます。

「この事業における契約行為とは、ご本人(利用者)と社会福祉協議会の間で福祉サービス利用援助契約を締結することをいいます。家族や代理の方との契約は結ぶことができません。(但し、成年後見人等と契約を結ぶことは可能です。)

また、福祉サービスを利用する際の手続きや申請、日常的な金銭管理等利用者の権利に深く関わった援助をするため、あくまでもご本人(利用者)の意思が確認できることが前提となります。」

「利用料について」

- ・1回(1時間程度)の利用の場合：利用料金1,500円
- ・書類等の預かりで金融機関の貸金庫等を利用する場合：貸金庫利用料金の実費



きまい

よりまい

いきいき

ふれあいサロン

勝川地区



勝川サロンは月に1回木曜日に琴南総合センターで開催しています。

4月のお花見、5月のホウ酸団子作りに続いて6月は「布ぞうり作り」に挑戦！

材料の布は各自で持ち寄り、「編み始めはどう巻くんだったかな…?」「鼻緒のつけ方は…?」と分からないところはお互いに教えあいながら編んでいきました。色とりどりの布で自分だけの布ぞうりの完成を目指して頑張っています。



ようこそサロンへ

谷山内地区ふれあい茶話会

～災害に強い地域づくりへ～



事務担当
森さん

代表
山本さん

データ

- 発 足 年 平成23年
- 会 員 172名
- 会 場 公文下集会場
- 開催時間 13:30～15:30
- 会 費 1回100円
- 開催回数 年12回
- 代 表 者 山本 昭

公文下谷山内地区は、日頃からの見守り活動をしようと平成20年に町社会福祉協議会の命見守りモデル集落事業に参加。「普段は、閉じこもりがちになっていて、気軽に話合える茶話会があればいいな」との声があがり、見守り活動の発展として、このサロン活動が始められました。

梅雨中の7月3日。今回で10回目になるサロンにお邪魔しました。ちょうど岡田民生委員さんが、民生委員の活動について話されていました。

参加者のみなさんは「ここへ来ると、勉強になることがよっけある」「話ができる場所があることはいい」「みんなの顔が見れてええ」とおやつを食べながら話が弾んでいて、2時間はあっという間に過ぎていくようです。

「平成16年の大雨の災害で地域のつながりが大切だと思った。日頃からの付き合いをして、自治会の見守りの一環としたい」と代表の山本さん、事務担当の森さんは、熱く話されていました。だれもが楽しく気軽に話し合えるサロン活動でした。



はなしがはずみます



谷山内地区ふれあい茶話会のみなさん

善意の寄付

地域福祉に活用させていただきます。
ありがとうございました。

平成24年4月1日から平成24年6月30日

敬称略・順不同

個人 敬称略・順不同

四条 香川 誠男
七 箇 渡辺 良典
川 東 中川 公昭
追 上 上村 幸男

佐 文 前原 憲一
宮 田 藤井 保
造 田 平田 正則
勝 浦 中西 光明

造 田 三好 忠義
大阪府高槻市 井上 始



イラスト:山本恭子さん

脳を使う習慣づくり

第10期 まんのう寺子屋

吉野校 (吉野公民館) で20名、四条校 (四条公民館) で7名が、物忘れ防止を目指して週一回、10分～15分くらいの読み書き・計算をしています。

5月に開校し、早3か月が過ぎました。今期から参加した筒井良雄さんは、「ここへ来るのが楽しくなってきた。何より会話が楽しい。」と言っています。昨年から参加している方は、「ここへくればいろんな話ができている。」と楽しそうです。採点、アドバイスをする学習サポーターは、「雪の雪 (ヨの中が出る字) があったことを学習者さんが教えてくれました。私たちも勉強になります。」とうれしそうに話されていました。

9月末の修了式まであと2か月。脳のトレーニングに、真剣に取り組んでいました。



真剣に学習



1枚ずつ採点

吉野校



ちょっとひと休み

福祉についてのお話の会 受付中!!

町社協では、職員が常会など集落の会合へ出向いて地域福祉について説明したり、懇談をしたりする出前講座を実施しています。来年の1月末まで実施しますのでぜひ開催をご検討ください。

※開催の2週間前までには、お申し込み下さい。



宮田にて〇×クイズ



谷山内にてお話の会

登録ホームヘルパー

募集中!!

●応募資格

- ・介護福祉士、訪問介護員1級または2級の資格をお持ちの方
- ・ヘルパー業務の経験のある方
- ・年齢60才未満の方

●業務内容

- ・身体介護
- ・生活援助

詳細は面談にてご説明します。

連絡先: TEL 77-2997
(介護福祉課)